

野川台自治会

あいさつ運動の輪

発行：野川台自治会
 発行者：野川台自治会長
 川崎市宮前区
 TEL.
 協力：西野川小学校PTA、野川中学校PTA
 一葉会、おやじの会、すずの会ほか
 編集：福祉の風土づくりを進める会事務局



家庭・学校・地域のさらなる連携をめざして



一日の始まり

西野川小学校 教頭 宮本 照久

「おはようございます！」

正門に響く、子どもたちの声。背中をまるめ下を向いて登校してきた子どもも顔をあげて笑顔になります。

あいさつには、不思議な力があります。知らない人同士でも気持ちが結びあえる力。人を幸せな気持ちにする力。みんなを元気にする力。そんな素晴らしい力をもっているあいさつで一日が始められたら、その一日はきっと素晴らしい一日になることでしょう。

西野川小学校では、毎週火曜日にあいさつ運動を行っています。毎日会っていると忘れがちになるあいさつの大切さを確認できる素敵な日です。また、いつも子どもたちを見守っていただいている方々とお会いできる素敵な日でもあります。

るようです。(中には元気に遅刻してくる生徒もいますが…) いずれにしても④⑤の生徒の反応を③→②→①と少しでも変えていけるよう、継続して取り組んでいきたいと思っています



西野川小学校の朝のあいさつ運動

継続が大切な「あいさつ運動」

野川中学校 教頭 高倉 昭彦

毎朝、野川坂上のバス停を降りて中学校へ向かうのが私の通勤ルートです。バス停から学校まで徒歩2～3分の距離ですが、そこで地域の方とお会いすることもあり、その時はどちらからともなくお互いに挨拶を交わしております。自宅付近ではこのようなことはないのでありますが…。

さて、中学校ですが、今までの自分の経験や先生方の話を伺うと、朝、挨拶運動に参加して「おはようございます」と声をかけると、生徒の反応は①元気に「おはようございます！」②普通に？「おはようございます」③小声で「おはようございます」④頷くだけ⑤反応なしに分かれます。多い順にあげると②①③④⑤でしょうか。①②はもちろんですが、小声でも、頷くだけでも反応があると嬉しいものです。同じ生徒でも日によって①だったり③④だったり、その生徒の朝の気持ちの状態を知る機会にもなっています。また、時間に余裕を持って登校する生徒に①が多く、遅刻または遅刻ぎりぎりに登校する生徒に④⑤が多い傾向があ

地域の“防災拠点”を皆で知ろう

——「おやじの会」の新たな絆づくり——

東日本大震災が起きてから早一年。誰もが、また地震が起きたらどうしよう！携帯も繋がらず家族との連絡もとれない！お父さんも帰宅困難者になり、近所のお年寄りへの手助けも当てにできない！そうした不安を少しでも解消できればと「おやじの会」は、「自分の身は自分で守り、地域のことは皆で！」の基本に立ち返り、温めてきた“防災訓練”を形を変えて実施。

昨年11月、会のメンバー10名の指導の基で、親子24組と西野川小学校の5名の先生、合わせて約70名が三班に分かれ、和気あいあいに野川地域を探索。消防署や交番はもとより、公衆電話、給水施設等の地域防災拠点などを“発見”し、マップに落とすなど楽しみながら体得し合うユニークな学習を試行。その後、三角巾の使い方や区役所提供のアルファーマの試食体験も実施。斎藤会長は、学校を舞台に地域と親子が連携しながら、できたら来年はもっとゲーム感覚を取り入れ、楽しみながら“防災活動の日常化”に繋がるよう工夫していきたいと抱負を語ってくださいました。

(「おやじの会」斎藤英純会長談)





あいさつの飛び交う街に犯罪なし!

—— 環境美化も防犯対策の一翼 ——



1 宮前警察署・区役所との合同パトロール

昨年末、「神奈川県安全・安心まちづくり旬間」に宮前警察署、宮前区役所の指導の基に自治会、西野川小学校の先生とPTA 7名、野川中学校の先生5名、野川こども文化センター、総勢30名が2班に分かれて団地内をパトロールしました。

その際、警察の方から「防犯パトロールは、泥棒を捕まえることではなく、パトロールをしている姿を見せたり、声を掛け合うことが犯罪者を寄せ付けない街づくりに繋がるのですよ」とのお話がありました。身構えて参加したお母さん方はホットした様子でした。

2 犯罪者が嫌う声かけ!

泥棒が犯行をあきらめた理由として、一番にあげたのが「近所の人に見られたり、声を掛けられた」とのことで、泥棒の多くは下見をしているため、あいさつや声かけは効果絶大なわけです。やはり街の人の絆やつながりが強い地域は、空き巣などの事件が少なくなっているとのことでした。

3 犯罪者を寄せ付けないまちづくり(防犯灯・美化)

「割れ窓理論」を実践している有名なケースとして、落書きや犯罪が無くなったニューヨークの地下鉄、15分毎に清掃を徹底し、ゴミを捨てにくい雰囲気づくりに努め来訪者のマナー向上につながったディズニelandの例が挙げられます。当自治会も色々な形で取り組んでいます。例えばこの数年明るい夜道にするため防犯灯の取り換えと増設を精力的に進めています。また地域の方の参加を得て、公園の樹木剪定や花壇づくり、ゴミ置き場の美化、放置自転車の撤去など犯罪の温床化を防止し犯罪に強い街づくりに努めています。

防犯灯に係る工事内容	H21	H22	H23
防犯灯の新設(LED、新省エネ42W等)	32	16	5
老朽化等での交換(LED、新省エネ42W等)	26	52	28
その他(球切れによる蛍光管・グロー交換等)	58	29	16



みんなで公園の清掃・美化



青色回転灯車をまじえた合同パトロール

(一口メモ) 一支援いマップづくり

東日本大震災で人々の絆の大切さを再認識させられました。そうした折り、自治会は市の事業としての「地域支援いマップづくり」を宮前区のボランティア団体すずの会と一部地域ですが一緒に進めています。

マップ化の作業から、全体としてお年寄りの方などで普段の生活の中で支援を必要とする人は、隣近所の方から、さりげなく見守り支えられていることが読み取れ、災害時の対応にもつながることが伺えました。引き続き挨拶等を通じ「向う三軒両隣のもつ支え合う風土づくりを進めたいと思います。」(野川台自治会長)

あいさつ運動に参加して

ゆうゆう広場さいわい 今井 勇

私にとって有難かったことは、地域の方々、保護者の皆様、生徒、そして将来入学してくるであろう児童の皆さんと朝から触れ合うことができたことでした。

地域の方々、保護者の皆様は地域で子供を育むという姿勢で見守ってくださり、地域のイベントにも参加する機会を与えて頂き、生徒は地域の中で貢献できる喜びを得ることができたのではないのでしょうか。

また生徒の活躍の様子を幾度となく広報紙に掲載して頂きました。私達職員は校門に立って生徒の皆さんに自分から進んであいさつできるようになり、おはようございますにも色々あることが分かりました。元気のよいおはようございます。頭をちょこっと下げたおはようございます、ちらっとこちらを向いただけのおはようございますがすべて精一杯のあいさつだと理解できるようになりました。そしてあいさつを交わすことで小学生と知り合うことができ、中学校に入学した時のギャップ解消に役に立てたかもしれません。

終わりにになりましたが、挨拶運動を推進して下さっている町内会・自治会や民生委員の皆様をはじめ地域の皆様、生徒の皆さんに沢山の元気と笑顔を頂きありがとうございます。心より感謝申し上げます。(野川中学校前校長)



あいさつのあふれるすてきな街づくり

— 人と人とのつながりの第一歩 —



あいさつはいいきもち！

西野川小学校 2年生

わたしは、あいさつをすると元気になります。なぜかというと、「おはようございます」と言うと、「おはようございます」と返してくれるからです。これからもいい気持ちになるように、あいさつ運動をしたいです。

(露木 知世)

あいさつをすると気持ちもよくなりスッキリします。そうすると、あいさつされた人もうれしいし、あいさつをした人もうれしいです。知らない人でもあいさつすれば友だちです。ぼくは、あいさつは大切だと思いました。

(林 恭輔)

聞こえる声で「おはよう」。知らない人にも「おはよう」。わたしはいい気持ちになるし、二人ともえがおになります。あいさつをすると、みんながつながった気になります。

(原 千尋)

一味違う嬉しさや達成感！

野川中学校 2年 野武 瑞生

バレーボール部は、毎週月曜日、正門と通用門の二手に分かれて朝8時から8時10分まであいさつ運動に参加しています。あいさつ運動を行うきっかけは、生徒会本部からの呼びかけで、先輩の代から部として引き継がれています（挨拶をされて嫌な気分になる人はいないと思います）。私も入学当初はあいさつをされ、返す側でしたが、あいさつをされた時はとても嬉しく気持ちが良かったのを覚えています。そして今では、あいさつ運動を行う側になりました。あいさつを返してくれた時は、とてもやりがいを感じます。あいさつを交わすとお互いに笑顔になれます。そして、するとされるのでは、一味違う嬉しさや達成感があります。ぜひ、皆さんもあいさつをする立場になってみませんか！



野川中学校通用門の朝のあいさつ運動

目と目が合った時の喜び！

西野川小学校 PTA 会長 亀ヶ谷 豊

先日、朝の薄暗い時間に家を出て一時間散歩をしました。はじめはウォークマンで音楽を聴きながら、途中電池が無くなったのでイヤホンを外して風景を眺めながら歩いていました。向うから歩いてきたおじさんと目が合ってお互いに「おはようございます」と知り合いではないのですが、挨拶をしたことで嬉しい気分朝日を浴びながら歩けました。好きな曲を聴いて歩くのもいいけど、人との出会いがあるような時には、音楽なしがいいなあと感じました。

月2回のあいさつ運動の時でも子どもたちの目が自分の目と合わないときびしい気持ちになります。多くの子供達に朝の校門に立ってもらい、目を合わせてあいさつをする喜びを知ってほしいです。上手くあいさつが交わせたその日はいい気持ちで過ごせ、また他人に優しく接することができるからです。毎日がそのように過ごせますように！



人と人とのつながりの第一歩！

野川中学校 PTA 会長 白井 裕一

「おはよう！」「おはようございま〜す！」「今日はいい天気だね〜！」「今日は寒いね〜！」、地域の皆様の協力を得て始めた朝の挨拶運動。

今では野川にある全ての小中学校で実践されています。小学校だけで終わらず中学校に行っても同じ「あいさつ運動」が行われている。また独自の取り組みとして10年以上前から登校時の挨拶を行っている学校もあると聞きます。

この挨拶を小中学校9年間継続し、それが習慣となっていく、地域全体が一体になって子どもたちを育てている。なんて素晴らしい活動でしょう。あいさつは人と人との繋がり第一歩です。昨今はその繋がりが薄れ政治家やマスコミなどが度々使用する「絆」という言葉が虚しく響く！？今日この頃ですが、「絆」を「言葉」ではなく「行動」で示す！この素晴らしい活動に協賛し子どもたちを育てて頂いている地域の皆様や学校の先生方に改めて保護者を代表し、お礼申し上げます。「ありがとうございます」！！

学校と地域のつながり



学校・地域のイベントや児童・生徒の活躍は地域の誇り

(文責は編集事務局)

地域の名人と触れあう“昔遊び”

“やった、できたよ”の喜びの声、悔しさいっぱい声、“ほくできないよ”の弱気の声…。

10月3日、西野川小体育館で行われた地域の昔遊びの名人と一年生との触れ合いの授業の一コマです。

校長先生から昔遊びは、脳の活性化やコミュニケーション力の深まりに繋がるとのお話がありました。

子どもたち全員で思い思いに、こま、かぶと、剣玉、かるた、お手玉、おはじき、手遊び、あやとり、めんこの10種類に悪戦苦闘しながらも挑戦！後日の子どもたちの感想文をみてみますと、「こつをおしえてもらってけん玉がじょうずになった」、「給食でいっぱいお話をしてくださったのしかったです」などの声が聞かれました。(担任は佐久間、十鳥、藤田の各先生)



やった！できたよ！

心が通じ合う「赤い羽根募金活動」！

野川中学校は、近年、生徒会活動やクラブ活動が活発化していると言われています。昨年の3月11日、未曾有の東日本大震災の直後、生徒会の企画で被災者への支援に役立てばと、校門などで募金活動を行い、犬の散歩の近所の方も、通勤途上の方も、生徒の心意気に動かされ協力している光景がみられました。

また、10月7日の恒例、「赤い羽根共同募金」に際し、生徒会を中心としたサミットメンバー約20名が、川崎フロンターレのマスコット“フロン太くん”と地区社協の方と一緒に、フジスーパーとOKストアの2か所で募金活動を行いました。

“温かいご協力をお願いします”の声に幼稚園帰りの親子連れやお店に来られた方が、足を止め“御苦労さま”、“頑張ってるね”と温かい声かけ。そうした中で生徒たちは、「人の心の優しさを感じるとともに誰かのために何かをすることは、自分も温かい気持ちになれる」と感じていました。(顧問は、多田、熊谷の各先生)



フロン太くんと一緒に

あこがれている花屋さんで！

野川台西口にあるフジガーデン(株・泉樹園)に野川中2年生の女子が職場体験。「おばあちゃんがお花大好きだったので、私も自然と花屋さんで憧れて

います…、花と触れ合うと何となく気持ちがなごみ、時の経つのも忘れてしまいそう！」と話してくれました。

職場体験の初日は、丁度花の仕入れの日で、チューリップ、ジャスミン、しゃくなげ、サザンカなどの花が沢山入荷し、棚に運んだり、値づけをしたり大忙。明日は、花の植え替えや花がらをつんだり、一鉢一鉢の個性を引き出してあげる仕事があります。

お店の方は、花屋さんの仕事の大変さや楽しさが少しでも分かって頂ければ嬉しいとおっしゃっていました。(職業体験担当は、多田先生)



一鉢一鉢に個性を！

バトミントン県大会 個人戦3位！

今年度の大会では、女子は健闘空しく上位には食い込めませんでした。男子は個人戦、団体戦とも頑張り努力が実りました。特に県大会個人戦では、2回

戦、3回戦とも2-0と相手のバランスが崩れたところをスマッシュで打ち込む頭脳的プレーで順当に勝ち進みました。準決勝戦では、ミスが重なり惜しくも負けてしまいましたが、前年度の苦い“熱中症”の経験を克服し、8位から3位と輝かしい成績を残したと言えます。この陰には、顧問の先生方のアドバイスや仲間の日々の温かい支えがあったことが伺えました。

試合会場の体育館は、夏になると40度近くになることから、瞬発力、持久力、精神力がものをいうスポーツと言えます。(顧問は、横尾、西田、恩納の各先生)



練習前のミーティング

編集後記

昨年暮れに発表されました2011年を表す漢字に「絆」が選ばれました。「絆」は福祉の原点と言えます。

少子化、高齢化・震災に係る事柄が毎日のように報道されています。こうした時にこそ、一方法として即効薬ではありませんが、生活の場で、あいさつの不思議な力を再認識し合い、地道に「絆づくり」につなげていくことが求められているように思えます。(原、辻本、後藤、鈴木)